

令和２年度第２回名古屋市子どもいきいき学校づくり推進審議会

令和２年１２月１４日（月）午前１０時～
名古屋市教育館 ３階 第４・５研修室

〈次 第〉

○開会・事務局あいさつ

１ 高坂小学校としまだ小学校の統合に関する個別プラン（諮問）について 別紙

２ その他

2 教 教 環 第 13 号
令和 2 年 12 月 14 日

名古屋市子どもいきいき学校づくり推進審議会
会長 土屋 武志 様

名古屋市教育委員会

高坂小学校としまだ小学校の統合に関する個別プラン（諮問）

みだしのことにつきまして、名古屋市子どもいきいき学校づくり推進審議会
条例（令和元年名古屋市条例第 16 号）第 2 条の規定により別添のとおり諮問
いたします。

高坂小学校としまだ小学校の統合に関する個別プラン（諮問）

1 取り組みを行う学校

（1）対象校：高坂小学校（天白区）

①選定理由

高坂小学校は小規模校であり、今後も小規模校が継続する見込みであることから、取り組みを行う学校として選定する。

②学級数・児童数（令和2年度）

区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級数	1学級	1学級	1学級	1学級	1学級	1学級	2学級	8学級
児童数	21人	20人	16人	14人	20人	14人	3人	108人

※特支：特別支援学級

③未就学児数（令和2年度）

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
人数	15人	27人	31人	29人	26人	20人	148人

④学級数及び児童数の見込み

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
学級数	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級
児童数	105人	108人	116人	126人	137人	137人	131人

※特別支援学級の学級数・児童数は含まない。

⑤沿革

昭和42年6月 天白小学校分校として開校

昭和44年9月 高坂小学校として開校

(2) 相手校（関係校）：しまだ小学校（天白区）

①選定理由

○出身の幼稚園・保育園の状況が、久方中学校区の小学校の中では高坂小学校・しまだ小学校のつながりが深い。

○しまだ小学校の敷地面積が、久方中学校区の小学校の中で一番広い。

※敷地面積は、高坂小学校が 12,396 m²、しまだ小学校が 16,579 m²、相生小学校 11,592 m²。

○しまだ小学校を統合地とした場合、両学区での通学距離が概ね 2 km 以内となる。

※通学距離（最も遠い地点からの距離）

高坂学区（久方三丁目～しまだ小学校 1.7 km）

しまだ学区（高島二丁目～高坂小学校 2.1 km）

②学級数・児童数（令和 2 年度）

区分	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特支	合計
学級数	3 学級	3 学級	2 学級	2 学級	2 学級	2 学級	2 学級	16 学級
児童数	63 人	67 人	57 人	64 人	76 人	65 人	5 人	397 人

※特支：特別支援学級

③未就学児数（令和 2 年度）

区分	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合計
人数	55 人	66 人	65 人	49 人	58 人	60 人	353 人

④学級数及び児童数の見込み

区分	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
学級数	14 学級	13 学級	12 学級	12 学級	13 学級	14 学級	13 学級
児童数	392 人	385 人	366 人	351 人	352 人	354 人	351 人

※特別支援学級の学級数・児童数は含まない。

⑤沿革

昭和 47 年 4 月 しまだ小学校として開校（高坂小から分離新設）

2 取り組みの方法等

(1) 取り組みの方法

高坂小学校としまだ小学校を統合する。

(2) 統合場所

現在のしまだ小学校の場所を統合場所とする。

選定理由は、1 (2) ①のとおり。

(3) 統合校の規模

①学級数・児童数（令和 2 年度の児童数合算、これをもとにした学級数）

区分	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特支	合計
学級数	3 学級	3 学級	2 学級	2 学級	3 学級	2 学級	2 学級	19 学級
児童数	84 人	87 人	73 人	78 人	96 人	79 人	8 人	505 人

※特支：特別支援学級

②通学区域内の未就学児数（令和 2 年度の未就学児数合算）

区分	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合計
人数	70 人	93 人	96 人	78 人	84 人	80 人	501 人

③統合を想定した場合の学級数及び児童数の見込み

区分	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
学級数	15 学級	16 学級	16 学級	16 学級	17 学級	16 学級	15 学級
児童数	497 人	493 人	482 人	477 人	489 人	491 人	482 人

※特別支援学級の学級数・児童数は含まない。

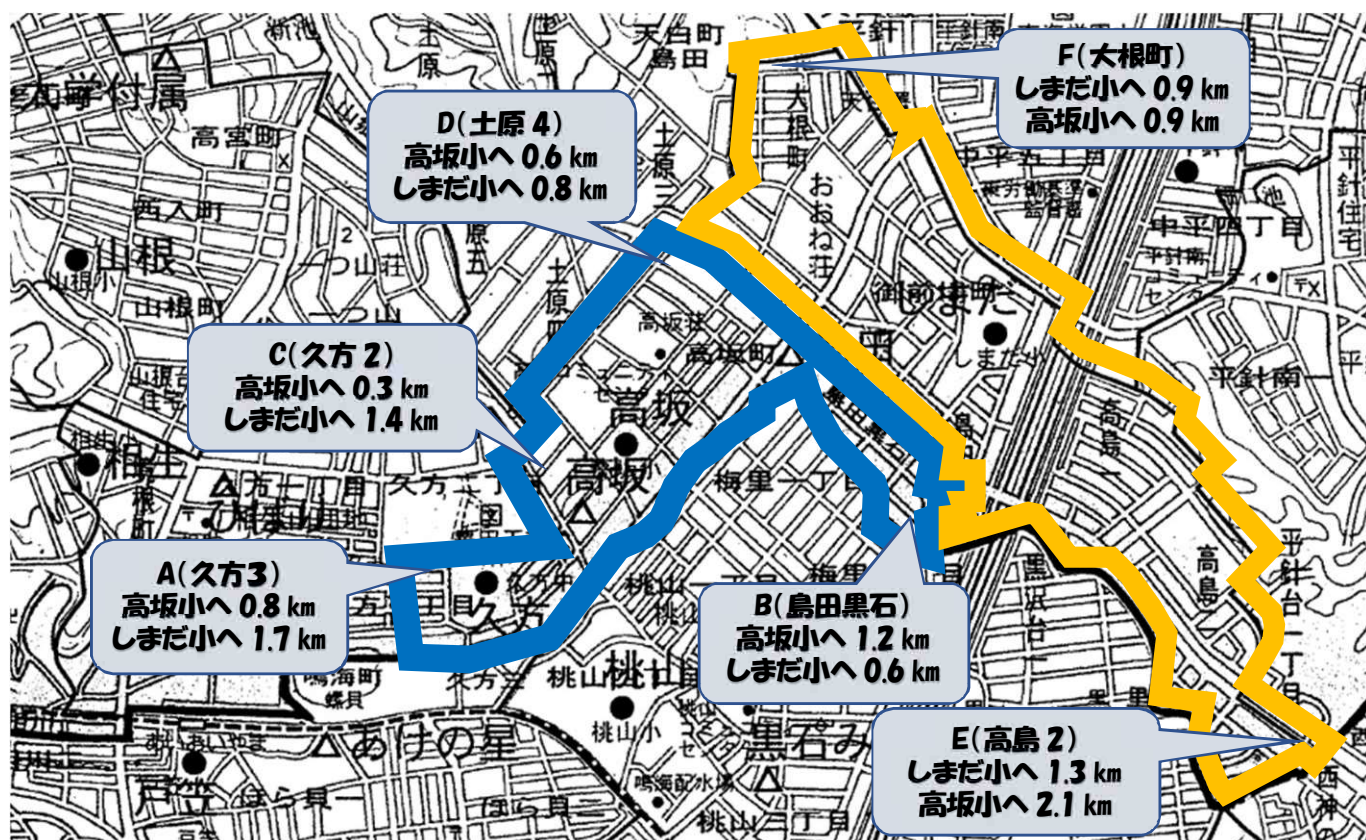
3 通学区域等

(1) 通学区域

新しい通学区域は、現在の高坂小学校及びしまだ小学校の通学区域とする。

(2) 通学距離

区分	現状の学区	現状の通学距離	取り組み後の通学距離
A (久方 3)	高坂学区	高坂小まで約 0.8 km	しまだ小まで約 1.7 km
B (島田黒石)	高坂学区	高坂小まで約 1.2 km	しまだ小まで約 0.6 km
C (久方 2)	高坂学区	高坂小まで約 0.3 km	しまだ小まで約 1.4 km
D (土原 4)	高坂学区	高坂小まで約 0.6 km	しまだ小まで約 0.8 km
E (高島 2)	しまだ学区	しまだ小まで約 1.3 km (参考) 高坂小まで約 2.1 km	
F (大根町)	しまだ学区	しまだ小まで約 0.9 km (参考) 高坂小まで約 0.9 km	



※この地図の作成にあたっては、名古屋市学校配置図の一部を使用し、複製した。(東洋地図株式会社承諾済)

(3) 安全対策

統合の決定後、統合校の開校に向けて、安全点検や地域・交通状況などの特性を踏まえて新しい通学路を設定するとともに、必要な安全対策について関係行政機関と連携を図り、通学の安全確保に取り組む。

(取り組みの例)

信号機や歩道橋の設置状況を踏まえた通学路の検討、歩行者用信号機やガードレールなどの安全施設設置の検討、注意標識設置の検討、交通指導員配置の検討、地域ボランティア等見守り活動への協力依頼や実施検討、通学練習会実施の検討等

4 施設整備の方向性

統合にあわせて、現在のしまだ小学校の校舎等を全面的に取り壊し、新築する。

イメージ図



5 今後のスケジュール（想定）

統合校を新築により整備する場合、児童の安心・安全な学校生活が確保できるような学校運営等を前提とした検討が必要となる。これまでの統合校（ほのか小学校、笹島小学校（笹島中学校との併設）、なごや小学校）では、いずれも工事期間中、児童等は一時的に通学場所を変更している。

下のフローチャートは、これまでの事例を踏まえ、想定されるスケジュールである。

